

令和5年に皆様からお寄せいただいた寄付金
29, 564, 500円(2, 172件)は、
令和6年度の次の事業に活用・充当いたしました。

寄付金の使途	寄付件数	寄付金額(千円)	活用・充当した事業
子育て	719	9, 060	第3子以降保育料等免除事業
防災・減災	99	1, 220	地区防災計画策定促進事業
若者の働く場	73	922	イノベーション推進事業
水資源	53	680	香川用水県外水源地学習事業
健康長寿	91	1, 396	生活習慣・健康状態見える化事業
教育	102	1, 689	「さぬきっ子学力向上」事業
農林水産業	89	1, 481	早期実用化事業
産業振興	36	630	スタートアップ創出促進事業
観光	98	1, 132	観光客の利便性・満足度向上事業
環境保全	72	885	森とみどりの祭典開催事業
地球温暖化対策	36	581	かがわスマートハウス促進事業
動物愛護管理	86	1, 291	動物愛護センター事業費
野生鳥獣保護	48	622	傷病鳥獣保護事業
瀬戸内国際芸術祭	32	392	瀬戸内国際芸術祭推進事業
栗林公園	22	451	栗林公園特別会計繰出金
香川丸亀国際ハーフマラソン	16	169	香川丸亀国際ハーフマラソン大会開催事業
高校生花いけバトル	7	81	全国高校生花いけバトル開催事業
奨学金返還支援	16	271	奨学金を活用した大学生等の 地方定着促進事業繰出金
地域スポーツチーム	9	135	地域密着型スポーツ魅力向上事業
地域公共交通	18	193	公共交通事業者自動車運転手確保 支援事業
知事におまかせ	450	6, 283	瀬戸内海国立公園指定90周年記念 ”香川×岡山”食の大博覧会事業

第3子以降保育料等免除事業

R6年度事業費	うち寄付金活用額
142,787千円	9,060千円

3人以上のお子さんを扶養する世帯に対して、第3子以降の保育料等を減免し、世帯の経済的負担を軽減することにより、子どもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されることを目的としており、

保育所、幼稚園、認定こども園及び地域型保育事業所において、保護者が支払うべき保育料等の減免を行った市町に対して、減免額の半額について助成を行いました。



令和6年度実績

①3歳以上で教育認定を受けている子どもに係る副食費
②3歳以上で保育認定を受けている子どもに係る副食費
③3歳未満で保育認定を受けている子どもの保育に係る保育料
合計2,337名分 延べ24,821ヶ月分(市町への助成額142,787千円)

香川県で次代を担う子どもたちを安心して産み、健やかに育てることができる「子育て県かがわ」を実現するため、結婚から妊娠・出産を経て、子育てまでの切れ目ない支援を総合的に推進していきます。
引き続きご支援をお願いいたします。

地区防災計画策定促進事業

R6年度事業費	うち寄付金活用額
1,157千円	1,157千円

南海トラフ地震等の大規模災害に備え、地域防災力の強化を図るため、地域住民が主体となって地域における防災活動について定める、地域密着型の地区防災計画の策定を支援します。

令和6年度実績

- 県内の自主防災組織等が市町と連携して行う、地域の災害リスク等を把握するためのまち歩きや防災マップの作成、専門家を交えた勉強会の開催など、地区防災計画策定にむけた取組に対して支援を行うため、香川県地区防災計画策定促進事業により助成を行いました。
- 香川県地区防災計画策定促進事業採択件数:4件

いただいた寄付を活用し、地域の防災力を向上させる事業を行うことができました。

引き続き防災・減災につながる事業に取り組んでまいります。また、県ではスマートフォン向け防災アプリ「香川県防災ナビ」を運用しています。ぜひダウンロードしていただき、いざという時の備えにご活用ください。



イノベーション推進事業

R6年度事業費	うち寄付金活用額
21,550千円	922千円

情報通信関連産業の育成・誘致の拠点である「Setouchi-i-Base」を中心に、新しいアイデアや技術が生まれやすい環境を形成し、イノベーションによる新たな価値創出とイノベーションを推進する人材の育成を目指して、県内企業などを対象に、新規事業の推進や革新的なテクノロジーについて学ぶ講座を開催しました。

令和6年度実施状況

・データ分析・ChatGPT活用人材養成講座

オンラインでデータ分析と生成AIから適切な出力を得るためのプロンプトエンジニアリングのスキルを学習する講座(受講者34名)

・かがわイントラプレナー(社内起業家)養成講座

ビジネスアイデアの発想方法から経営層に対するプレゼンテーションの心得までを一体的に学ぶことができる講座(受講者12チーム34名)



高松駅前、高松シンボルタワーにあるオープンイノベーション拠点「Setouchi-i-Base」では、新規事業の推進やデジタルスキルについて学べる人材育成講座に加え、コーディネーターによる様々なご支援も行っています。ご関心がある方は、まずは、施設の見学からでもお越しいただけると幸いです。

香川用水県外水源地学習事業

R6年度事業費	うち寄付金活用額
5,933千円	680千円

香川用水の恩恵や水資源の重要性についての認識を深めるため、県内の小学4年生及び中学1年生が実施する、早明浦ダム又は池田ダムの見学学習に要する経費の助成事業などを実施しました。

令和6年度実績

平成6年度に事業を開始して以来、令和6年度までの31年間の累計で参加者は17万8千人を超え、香川用水関連施設を訪れた児童・生徒は、水の大切さや環境とのかかわりについて学習し、水資源に対する認識を深めています。

・参加学校数:57校(早明浦ダム10校、池田ダム28校、オンライン授業19校)

・参加児童・生徒数:3,256名

皆さまからのご寄付は、児童・生徒だけでなく、ご家族や地域全体の節水意識向上にもつながっています。香川県は今後も水資源を守る取組みを進めてまいりますので、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

早明浦ダム見学の様子



地域密着型スポーツ魅力向上事業

R6年度事業費	うち寄付金活用額
26,989千円	135千円

一人でも多くの方に試合会場に足を運んでもらえるよう、会場全体のエンターテインメント性を高める様々なイベントを開催し、試合観戦の機運醸成に向けた魅力づくりと情報発信を実施しました。

また、アウェイ(ビジター)から来場するファン・サポーター等に対し、香川県のPRを行いました。

令和6年度実施状況

様々な地域資源を活用したイベント「かがわスポーツ×ファンキッズDAY」の開催や情報発信により、試合観戦の魅力向上と観戦機運の醸成に努めるとともに、ファンと選手との交流などを通じて球団の魅力発信と応援機運の醸成に取り組みました。



香川県を拠点に活動する地域密着型スポーツチームは、様々な地域貢献活動に取り組むほか、地域活力向上や交流人口拡大にも貢献しており、県ではこれらのチームを地域の財産と捉え、活用と支援に取り組んでいます。これからもスポーツチームへの応援をよろしくお願いし

「さぬきっ子学力向上」事業

R6年度事業費	うち寄付金活用額
29,383千円	1,689千円

県学習状況調査を通して、児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握し、指導方法の工夫・改善に役立てるとともに、児童生徒の理解の程度に基づく個に応じた指導などを実施する契機としています。

令和6年度実施状況

・令和6年度も、「教科に関する調査」において、思考力・判断力・表現力等を問う問題を重視して作問し、その状況を把握した。また、「児童生徒質問紙調査」「学校質問紙調査」を実施し、児童生徒の学習や生活、学校の取組み等の状況を把握するとともに、学力との関連についても分析しました。

【児童生徒質問紙調査】
学習や生活の諸側面等に関する調査を質問紙の形式で実施
【学校質問紙調査】
学校の取組みや児童生徒の状況等に関する調査を質問紙の形式で実施



・県内の小学校第5学年と中学校第2学年の全児童生徒を対象に、小学校151校、中学校66校(附属学校及び県立学校を含む。)で実施しました。

寄付していただいたことで、児童生徒の学習や生活の状況及び学校の取組状況を把握することができ、特に授業における話合いの質を向上させる必要があることが見えてきました。令和7年度以降も、教員の指導力向上に向けたPDCAサイクルを充実する取組みとして位置付けてまいります。

生活習慣・健康状態見える化事業

R6年度事業費	うち寄付金活用額
3,368千円	1,396千円

健康への関心が低い傾向にある若者や働き盛り世代を中心に、スーパーや企業、学校など日常生活の場で、普段測る機会のあまりない野菜摂取量や骨密度を測定し、生活習慣や健康状態を「見える化」することで、健康行動への変容を促す取り組みを実施しました。

令和6年度実施状況

- ・骨密度測定 60回(延べ2,227人)
- ・野菜摂取量測定 191回(延べ4,815人)

参加者からは、「野菜をもう一品増やそうという気持ちになった」「骨密度について意識するきっかけになった」などの感想が多く、自らの状態を見える化することによる意識の変化や行動の変容に一定の効果があったものと考えています。

県民の健康寿命の全国トップ10入りを目指し、県民の皆様の健康づくりを支援してまいりますので、引き続きの応援をよろしくお願いします。



骨密度測定→



←スーパーマーケットでの測定の様子



動物愛護センター事業費

R6年度事業費	うち寄付金活用額
1,801千円	1,291千円

香川県は、他県に比べ犬の収容数が多く、その結果、殺処分数が多い状況にあります。

このような状況を改善するため、平成31年3月に県と高松市が共同で開所した「さぬき動物愛護センター しっぽの森」を拠点として、ボランティアなどと協力し、動物愛護管理の普及啓発や犬猫の適正な譲渡に取り組んでいます。

令和6年度実施状況

犬猫の適正な譲渡に協力いただいている譲渡ボランティアには、しっぽの森を利用した譲渡会の開催等の活動支援や、しっぽの森から譲り受けた動物の診療費用の一部助成を行っています。ボランティアの方々のご協力もあり、令和6年度については、犬526頭、猫221匹を大切に飼っていただける方のもとに譲渡することができました。



皆さまをはじめ多くの方に、動物愛護管理について関心を持っていただくことが、犬猫の殺処分を減少させ、人と動物との調和のとれた社会の実現への第一歩だと思います。引き続き、応援をお願いいたします。

早期実用化事業

R6年度事業費	うち寄付金活用額
3,441千円	1,481千円

県オリジナル小麦「さめきの夢2009」の後継新品種「さめきの夢2023」について、大規模に試作した収穫物を用いて、製粉事業者及び製麺事業者による製粉・製麺性等の評価と、消費者による食味評価を行い、早期実用化を進めました。

令和6年度実施状況

1) 製粉評価

「さめきの夢2023」の品質評価を行うため、工場製粉と製粉評価会を実施し、製粉方法や品質を分析しました。

2) うどんなどの試作評価

「さめきの夢2023」を用いて、うどんをはじめ、素麺などの試作評価を行うことで、作業性や品質を評価し、加工における特徴や留意点を把握しました。

（試作評価会2回、食味評価会2回、サンプル提供95事業者）

3) 消費者によるうどんの食味評価

消費者向けに、「さめきの夢2023」100%で作ったうどんの大試食会（1,000人対象）で食味アンケートを実施し、色・光沢、コシなど全ての項目で高評価を得ました。

新品種「さめきの夢2023」の応援をありがとうございます。
令和7年度は、うどんや素麺、中華料理、菓子等の新たな商品・メニュー開発を支援し、開発されたものの販売促進・消費拡大に取り組む予定です。引き続き、ご支援よろしくお願いします。



スタートアップ創出促進事業

R6年度事業費	うち寄付金活用額
5,965千円	630千円

子どもから大人までスタートアップへの理解を深め、応援する機運を醸成するとともに、起業を目指す方や先輩起業家、起業支援機関とのコミュニティ・ネットワーク作りを支援するため、令和6年度より「かがわスタートアップフェスタ」を開催しています。

令和6年度実施状況

- ・ サポート高松において「かがわスタートアップフェスタ2024」を開催し、延べ約3,500人の来場しました。
- ・ 香川県ビジネスチャレンジコンペの最終選考を催し、6社の書類選考通過者によるプレゼンテーションを行い、内3社が受賞しました。
- ・ スタートアップのPRブースを設け、28者が出展し独自性のある製品等を来場者にアピールし、来場者と交流が深まりました。

県経済を牽引するスタートアップが継続的に生まれ、育つ「香川らしいスタートアップエコシステム」の形成を目指した環境づくりに取り組みますので応援よろしくお願いします。



森とみどりの祭典開催事業

R6年度事業費	うち寄付金活用額
5,431千円	885千円

県民総参加のみどりづくりをより一層推進するため、みどりづくりから林業・木材の利用までの総合的な普及啓発イベントを開催し、「みどり」とともに暮らす社会の実現を目指しています。

令和6年度実施状況

令和6年10月6日に香川県公測森林公園で普及啓発イベント「森とみどりの祭典」を開催し、森林ボランティア団体等と協力して、県内の小学生（緑の少年団を含む）を対象に、緑の少年団活動報告や育樹体験、丸太切り体験などの、木や自然とふれあう体験をしていただくことができました。（来場者数119人）

多くの方に森づくり活動の楽しさや、やりがいを感じてもらうとともに、森林の大切さを学び、豊かな自然を満喫していただき、県民参加のみどりづくりの意識を高めることができました。



傷病鳥獣保護事業

R6年度事業費	うち寄付金活用額
6,735千円	622千円

傷ついたり、弱ったりした野生の鳥獣を保護し、野生に復帰できるよう、治療やリハビリ等を行っています。
公測森林公園内に整備した「香川県野生鳥獣保護センター」を中核拠点として、県獣医師会等と連携して、業務を行っています。

令和6年度実施状況

令和6年度においては、ツバメ等の鳥類を31羽、タヌキ等の獣類を14頭、計45個体の傷病鳥獣の保護受付をしました。県獣医師会による診療を4回行うなど、香川県野生鳥獣保護センターの専門職員等の治療やリハビリにより、鳥類11羽、獣類2頭を野生復帰させることができました。国内希少野生動植物種に指定されているハヤブサを保護し、野生復帰させております。
また、令和6年度末時点で、傷病鳥獣10個体に野生復帰に向けたリハビリ等を行っています。

自然の中に生きている野生鳥獣の保護やそれをとりまく自然環境の保全を通して、香川県の生物多様性の豊かさを将来に伝えていくため、引き続きご協力をお願いいたします。



瀬戸内国際芸術祭推進事業

R6年度事業費

104,255千円

うち寄付金活用額

392千円

瀬戸内国際芸術祭は、「海の復権」をテーマに掲げ、過疎高齢化など様々な社会問題を抱える瀬戸内の島々に活力を取り戻す取組みとして、2010年から3年に一度開催している現代アートの祭典です。

アートを道標に、船で島を巡りながら、瀬戸内の多島美や島民との触れあいなどを通じて、地域の歴史や文化を感じることができる芸術祭となっています。



高松港プロジェクト[建築:佐藤研吾、アート:五十嵐靖晃]
Photo:Shintaro Miyawaki

令和6年度実施状況

6回目となる「瀬戸内国際芸術祭2025」に向け、瀬戸内の世界とアートを存分に楽しんでいただけるよう、着実に準備を進めました。また、年間を通して、過去の芸術祭アート作品の継続公開や各種イベントの開催を行っており、地域におけるアート活動を「ART SETOUCHI」と称して、現代アートによる地域活性化や文化芸術の拠点形成を目指すとともに、芸術祭開幕に向けた地域の機運を高めていきました。

令和7年4月に「瀬戸内国際芸術祭2025」が開幕し、5月までの春会期には国内外からたくさんの方にお越しいただきました。夏会期(8月1日～8月31日)、秋会期(10月3日～11月9日)には新たなエリアやイベントも加わり、県内はアートの祭典で彩られます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

観光客の利便性・満足度向上事業

R6年度事業費

9,471千円

うち寄付金活用額

1,132千円

国内外から本県を訪れる観光客の方に、「香川に来てよかった」「また香川を訪れたい」と思ってもらえるよう、スタンプラリー企画や観光施設のクーポンなどを掲載した公式観光パスポート「うどん県おもてなしパスポート」を発行し、観光客の満足度と利便性の向上を図りました。
(令和6年度発行部数 49,000部)

今後も観光客の満足度と利便性の向上に努め、香川県の観光振興に取り組んでまいりますので、引き続き応援をよろしくお願いいたします。



ワン・ウェンチャー[王文志]「抱擁・小豆島」Photo:Shintaro Miyawaki

香川丸亀国際ハーフマラソン大会開催事業

R6年度事業費

12,500千円

うち寄付金活用額

169千円

令和7年2月1・2日に、海外選手5名、国内選手36名、学生選手20名を招待し、ゲストに金哲彦さんと高橋尚子さんを迎えて開催しました。8,685名がハーフマラソンを走り、3km部門と小学生駅伝を合わせると9,091人(申込総数10,361人)となりました。競技場や沿道に約85,000人の観客が集まりました。日本記録、日本学生記録が樹立され、大会記録も男女ともに更新されました。

競技場横の広場では、グッズ等のチャリティーオークションや飲食ブースなども設置しており、ランナーだけでなく応援の方々にも楽しんでいただけるよう取り組んでいます。今後も本県のスポーツ振興やにぎわいづくりのために、応援よろしくお願いいたします。



公共交通事業者自動車運転手確保支援事業

R6年度事業費

7,759千円

うち寄付金活用額

193千円

将来にわたって地域公共交通を維持・確保を図るため、県内の交通事業者の人材確保に向けた取組みに対する支援制度を創設しました。

具体的には、従業員が二種免許を取得する際に事業者が負担する費用や、採用活動などの広報活動費に対する補助などを行うことにより、交通事業者の人材確保を支援しました。

二種免許の取得費用については、バス事業者15社24人分及びタクシー事業者19社53人分に対して補助を行いました。また、求人媒体への情報の掲載や就職イベント等への出展などに係る広報活動費について、バス・タクシー事業者合わせて14社に対して支援を実施しました。

令和7年度も引き続き、県内の交通事業者の人材確保に向けた取組みを支援することで、地域公共交通の維持・確保を図ってまいりますので、今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。



瀬戸内海国立公園指定90周年記念 “香川×岡山”食の大博覧会事業

R6年度事業費	うち寄付金活用額
23,997千円	6,283千円

瀬戸内海国立公園指定90周年記念行事の一つとして、備讃瀬戸に面した岡山県と連携し、両県の食に関する県産品を一堂に集めて魅力発信と販売を行う「香川×岡山つながる食の大博覧会」を初めて開催しました。

令和6年度実施状況

- ・開催日時：【香川県会場】令和6年6月22日(土)、23日(日)
【岡山県会場】令和6年10月19日(土)、20日(日)
- ・開催場所：【香川県会場】サンメッセ香川(香川県高松市)
【岡山県会場】きびプラザ周辺(岡山県加賀郡吉備中央町)
- ・開催内容：香川県・岡山県の食に関する県産品の魅力発信及び販売(物販・飲食)、ステージイベント、ワークショップ、パネル展示など
- ・来場者数：【香川県会場】約3万3千人
【岡山県会場】約2万人

今後も県産品の認知度向上と消費拡大に努め、香川県の県産品振興に取り組んでまいりますので、引き続き応援をよろしくお願いいたします。



かがわスマートハウス促進事業

R6年度事業費	うち寄付金活用額
204,226千円	581千円

2050年二酸化炭素排出実質ゼロに向けて、高効率設備や再生可能エネルギー等を導入することで年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロにすることを目指したZEHの新築、停電時の備えとなる蓄電池・V2Hの設置、既存住宅の断熱性を高める断熱改修の実施を促進しています。

令和6年度実施状況

ZEHの新築、蓄電池・V2Hの設置、断熱改修を実施する場合に、その経費の一部を補助しました。

・ZEH	648件	152,100千円
・蓄電池	207件	20,700千円
・V2H	12件	1,200千円
・断熱改修	137件	28,681千円



今後も「香川県地域脱炭素ロードマップ」に沿って、家庭の脱炭素化をさらに進めるため、住宅の省エネ化や再エネ設備導入促進に取り組んでまいりますので、引き続き応援をよろしくお願いいたします。

全国高校生花いけバトル開催事業

R6年度事業費	うち寄付金活用額
7,124千円	81千円

花きの需要が減少傾向にあり、中でも若年層の消費が少ない中、「全国高校生花いけバトル」を起爆剤として、若い世代を中心に花きへの関心を高めて新たな需要を創出し、花きの需要拡大と花き文化の振興、さらに花きの生産振興を図ります。

「第八回全国高校生花いけバトル全国大会」

- 1 日程 令和7年2月2日(日) 9時30分～16時30分
- 2 場所 レクザムホール(香川県県民ホール)小ホール
- 3 出場チーム 地区大会代表 12チーム(24名)
- 4 大会結果 優勝 東京都立小石川中等教育学校
チーム「めがね」
- 5 来場者 600名



「全国高校生花いけバトル」への応援ありがとうございました。第九回大会は令和8年1月25日に高松市で開催予定です。引き続きの御支援、お願いいたします。

奨学金を活用した大学生等の
地方定着促進事業

R6年度事業費	うち寄付金活用額
5,000千円	271千円



意欲や能力が高いにもかかわらず、経済的な理由で大学等へ進学することが困難な方で、卒業後は県内に就職・定着し、かつ地域の中核的企業等を担う人材と成り得る方を支援するために、卒業後の県内での定住、就業等の条件を満たした場合、第一種奨学金返還時にその返還額の一部を支援しています。

平成28年進学及び進級予定者を対象に本制度を実施し始めてから、令和7年進学及び進級予定者までで451名を認定しました。

今後も本制度の活用を通じて若者の地元定着、県内企業の人材確保に努めてまいりますので、皆様方の一層のお力添えをお願い申し上げます。

栗林公園特別会計繰出金

R6年度事業費	うち寄付金活用額
91,411千円	451千円

栗林公園内に手入れを必要とする松が約1,000本、その他バベの生け垣をはじめとする常緑広葉樹が約8,800本あり、1年から2年を掛けて職人の手で計画的に行っています。

皆様からの厚いご支援、本当にありがとうございました。



剪定の様子